

拡げない！ 集団感染発生時の メリハリ対策



相模原市マスコットキャラクター

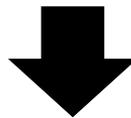


平成29年9月

相模原市保健所
疾病対策課

感染症発生時の主な報告基準

- ア 同一の感染症もしくは食中毒の患者又はそれらが疑われる者が**10名以上又は全利用者の半数以上**発生した場合
- イ 同一の感染症もしくは食中毒の患者又はそれらが疑われる**死亡者又は重篤患者が1週間内に2名以上**発生した場合
- ウ ア及びイに該当しない場合であっても、**通常の発生動向を上回る**感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合



施設の主管部局及び保健所へ報告

【相模原市保健所 疾病対策課 感染症対策班】

連絡先: 042-769-8260 ₂

集団発生と判断したとき

- ・施設の主管部局及び保健所疾病対策課へ報告してください。
※以下の①と②をご用意ください
- ・感染拡大防止対策を強化するとともに、改めて施設職員への対策徹底の周知及び患者情報を共有してください。
- ・利用者の家族などへ情報を提供してください。

①患者調査一覧表 (ラインリスト)

- ・施設情報
- ・患者の情報、発症年月日、症状、
診断名 等
- ・施設の階別、日別の新規発症者数
- ・職員の日別の新規発症者数 等
- どの階で何人が新たに発症したのか？

②集団感染対応チェックシート

- ・施設の感染症対応について

**感染症が拡がらないように食い止めたい！
保健所がお手伝いします！**



[相模原市ホームページ](#) > [トップページ](#) > [暮らしの情報](#) > [健康・衛生・医療](#) > [感染症](#) > [社会福祉施設等向けの情報に掲載しています。](#)

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kenko/kansenyobo/31410/index.html>

●施設情報(患者調査一覧表)

施設名: 疾病対策保育園					●記入例				
クラス名	階	年齢(歳児)	園児数	職員数	クラス名	階	年齢(歳児)	園児数	職員数
0.1歳児	2	0.1	10	4	つき	1	0	7	3
2歳児	2	2	15	4	かぜ	1	1	10	3
3歳児	1	3	15	4	もも	1	2	10	3
4歳児	1	4	15	3	そら	2	3	10	3
5歳児	1	5	15	3	ほし	2	4	10	3
					たいよう	2	5	10	3
一時保育		一時			一時保育	1	一時	5	2
非常勤職員					非常勤職員	1		0	5
合計			70	18	合計			62	25
記入者: 三田									
tel番号: 042-769-8260									
※施設情報は最初に記入するだけでかまいません									

●ラインリスト(患者調査一覧表)

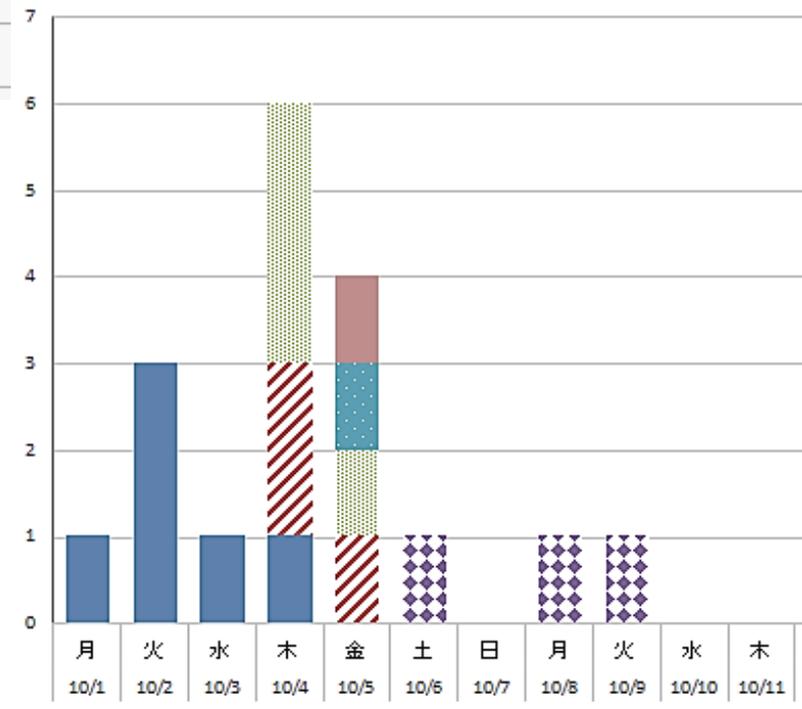
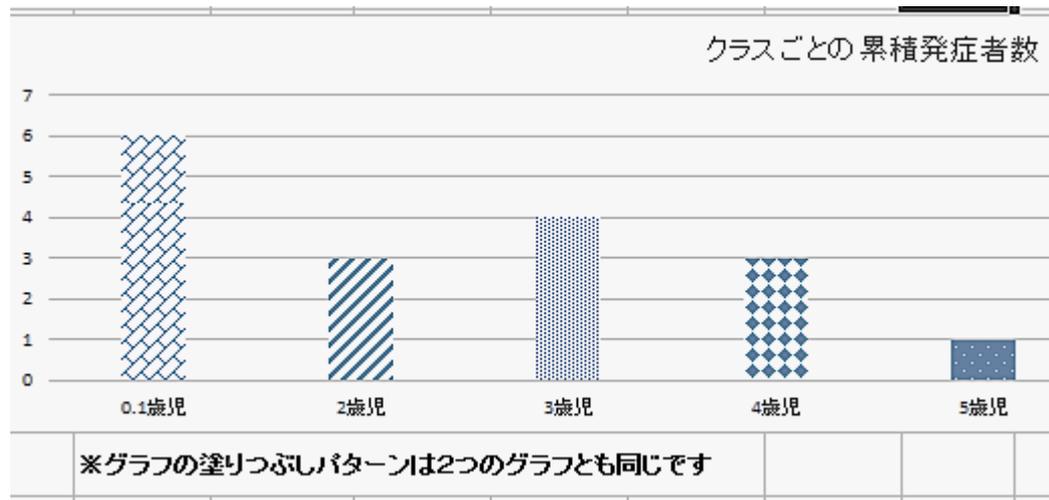
患者調査一覧表(ラインリスト)

日付は H29.5.30 のように入力しないと自動集計されません

施設名: 疾病対策保育園

患者No.	発症日	発症時間	曜日(自動)	クラス・部屋番号	階(自動)	園児:1 職員:	園児(自動)	性別 男:1 女:2	おう吐・下痢があった場所	発熱 (あり:1)	吐き気 (あり:1)	おう吐 (あり:1)	腹痛 (あり:1)	下痢 (あり:1)	頭痛 (あり:1)	咳 (あり:1)	痰 (あり:1)
7	H30.10.4	昼	木	2歳児	2	1	2	2	2歳児クラス		1	1					
8	H30.10.4	昼	木	0.1歳児	2	1	0.1	2	0.1歳児クラス					1			
9	H30.10.4	昼	木	2歳児	2	1	2	1	2歳児クラス					1			
10	H30.10.4	昼	木	3歳児	1	1	3	1	3・4・5歳児クラス					1			
11	H30.10.4	昼	木	3歳児	1	1	3	1	3・4・5歳児クラス					1			
12	H30.10.5	昼	金	5歳児	1	2	職員	2	自宅		1	1					
13	H30.10.5	朝	金	2歳児	2	1	2	1	自宅					1			
14	H30.10.5	朝	金	3歳児	1	1	3	2	自宅				1	1			
15	H30.10.5	昼	金	5歳児	1	1	5	2	3・4・5歳児クラス				1	1	1		
16	H30.10.6	朝	土	4歳児	1	1	4	1	自宅				1	1			
17	H30.10.8	朝	月	4歳児	1	1	4	1	自宅			1		1			
18	H30.10.9	朝	火	4歳児	1	1	4	1	自宅			1					
19	H																
20	H																
21	H																

発生状況（患者調査一覧表）



施設情報及びラインリストを入力すると、
 自動でエピカーブが作成されます！
 自動で作成されない場合は、ラインリストの
 日付入力方法(例:H29.1.1)に誤りがないか、
 園児または職員の選択がされているか確認し
 てください。

状況別の分析及び対策について ～感染性胃腸炎・保育園～

【状況】

- ① 消化器症状のある人がいる！
- ② 複数のクラスに多数の患者がいる！
(集団感染発生時)
- ③ 新しく感染する患者がいなくなった
- ④ 集団感染の終息判断となった

【状況】① 消化器症状のある人がいる！

【分析】

- 初発患者の感染経路はどこか？（家族？園内？不明？）
- 登園時の園児の体調は把握したか？
- 個人防護具及びおむつマット等の使用方法は適切か？
- 嘔吐物や汚染されたおむつは適切に処理されたか？
- 汚物処理をした職員の体調観察、管理はしたか？

【状況】① 消化器症状のある人がいる！

【対策】

- 消化器症状は1例目からノロウイルスを想定した対応を開始する
- 家族の体調不良者がいないか聞き取る。園内で前1週間程度さかのぼり、下痢をしていた職員（調理員含む）、園児がいないか確認する
- 園児の様子がおかしい場合は、元気かどうかの確認だけでなく、便の性状や嘔吐の有無なども具体的に聞き取る
- 個人防護具の正しい着脱方法、汚物処理の手順について再確認する
- 職員の健康観察を毎朝実施する。休職基準や復帰について事前に決めておき、無理に出勤しないように調整する体制を整えておく
- 汚物処理をした職員は、調乳室にも立ち入らない。その他配膳もできるだけ避けるように調整する

拡げない！メリハリ対策



優先順位が高いのは…

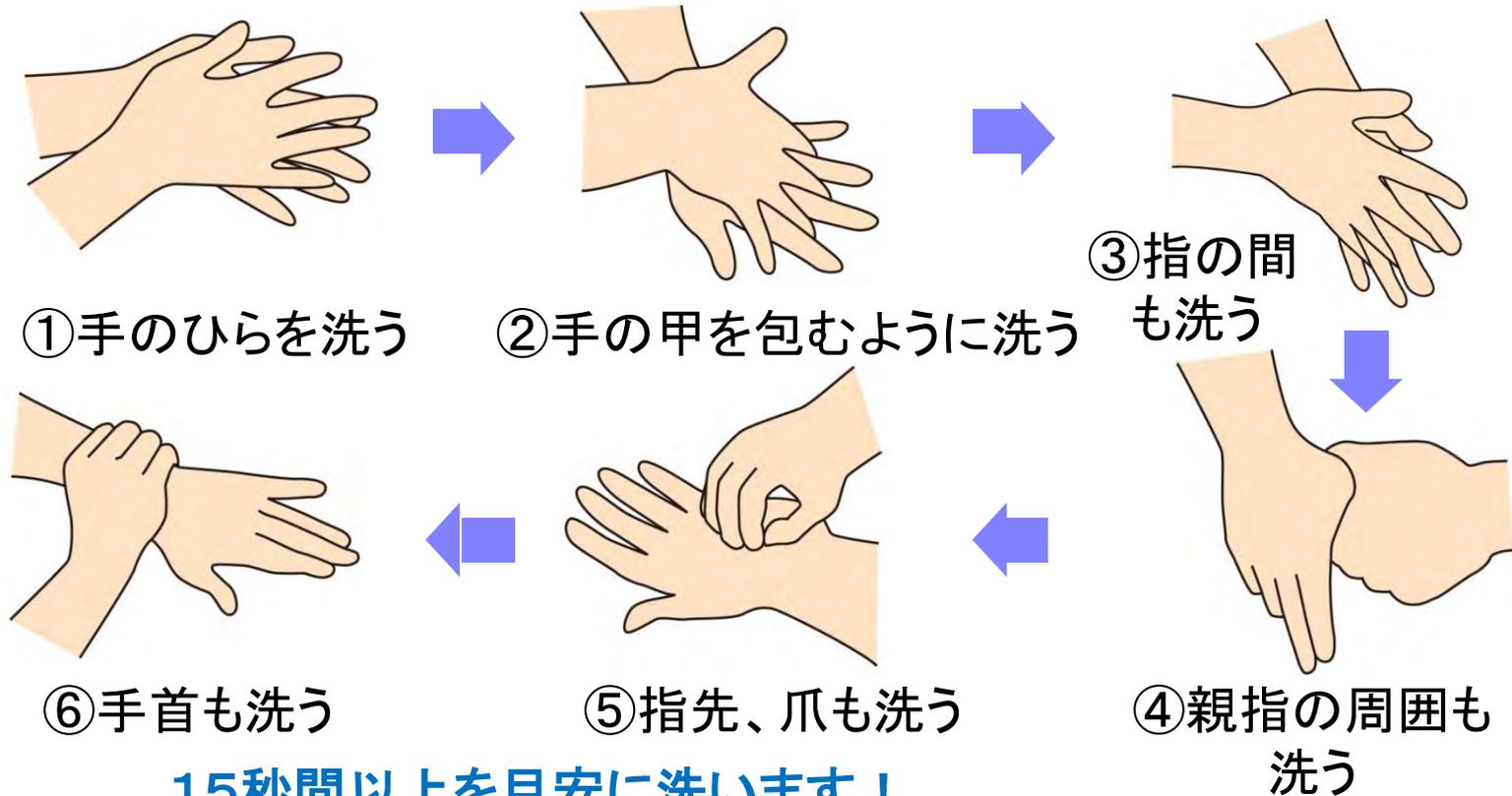
正しい手洗いをする！

・【状況】① 消化器症状のある人がいる！

特に念入りにしてほしい手洗いのタイミング

- 汚物などを触ったあと
- ケアの前後、次の人のケアに移るとき（おむつ交換など）
- 食事の前
- 調乳や配膳、食事介助の前

ポイント：しっかり、こまめに 手を洗いましょう



- ・手洗い後すぐに清潔なタオルかペーパータオルで拭き取り、ペーパータオルはすぐに捨てます。
- ・外出先など手洗いができない環境では速乾式手指消毒用アルコール(市販されています)を携行することも対策となります。

サージカルマスクの着け方

悪い例



腕に



あごに



鼻出し

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kenko/kansenyobo/31410/026826.html>

手袋の脱ぎ方



①片手で反対側の
手首部分 (外側) をつかむ

②裏返しになるよう
静かに引き抜く

③脱いだ方を持ったまま

手袋の脱ぎ方



④素手で表面に触れないよう
手袋の内側へ手を入れる

⑤静かに裏返しになるよう引き抜く

⑥ひとつにまとめて破棄する

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kenko/kansenyobo/31410/026826.html>

ビニールエプロンの脱ぎ方



①首の部分を引きちぎる

②上半身部分を前に垂らし
二つ折りにする

③裏面の裾を持ち上げて
折り曲げる

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kenko/kansenyobo/31410/026826.html>

ビニールエプロンの脱ぎ方



④裾を持って腰部分まで
丸め上げる

⑤そのまま前方に引っ張り
腰紐をちぎる

⑥丸めて破棄する

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kenko/kansenyobo/31410/026826.html>

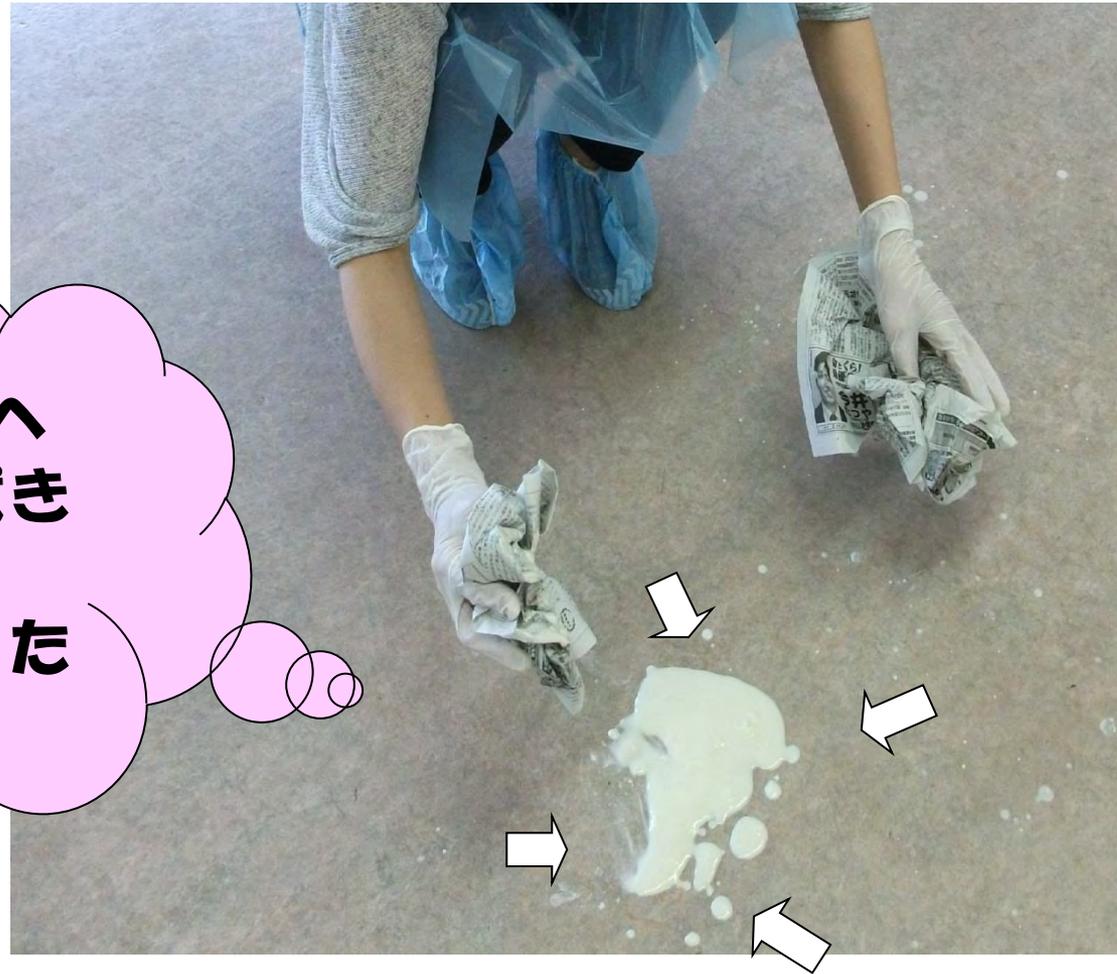
処理セットはわかりやすい場所に



- ①マスク
- ②手袋
- ③エプロン
- ④シューズカバー
- ⑤次亜塩素酸ナトリウム
- ⑥ぼろ布または新聞紙
- ⑦ゴミ袋
- ⑧バケツ

嘔吐物の正しい除去の仕方

外側から内側へ
一方方向に拭き
とる。
一度ふき取った
らゴミ袋へ



脱衣失敗例 手袋



脱ぐときは気をつけないと、
防護のためにつけた手袋で
汚染してまいります

【状況】②複数のクラスに多数の患者がいる！ (集団感染発生時)

【分析】

- それぞれの感染経路はどこか？
- 患者調査一覧表から感染拡大の状況を把握したか？
- 集団感染対応チェックシートから、現在実施している対応について検討したか？
- 家庭での便や嘔吐物の取り扱いは適切にできているか？保護者は流行状況を把握しているか？

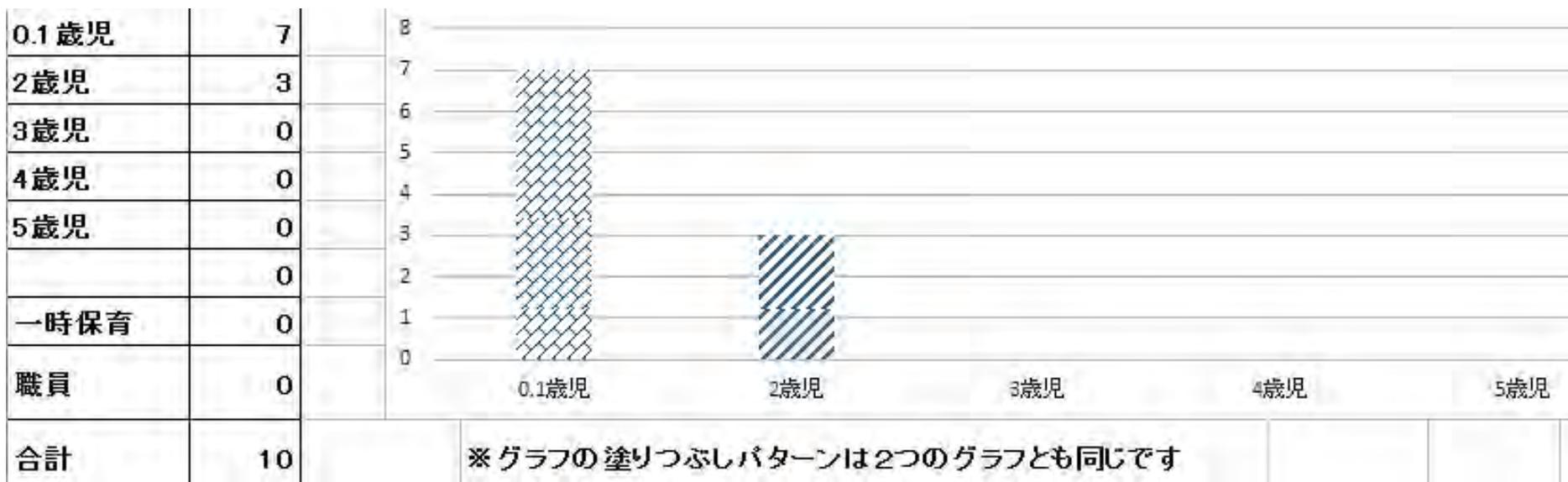
【状況】②複数のクラスに多数の患者がいる！ ～患者がクラス、フロアに偏っている場合～

患者調査一覧表(ラインリスト)

日付は H29.5.30 のように入力しないと自動集計されません

患者No.	発症日	発症時間	曜日 (自動)	クラス・ 部屋番号	階 (自動)	園児:1 職員:2	歳児 (自動)	性別 男:1 女:2	おう吐・下痢が あった場所	発熱 (あり:1)	咳 (あり:1)
1	H30.10.1	昼	月	0.1歳児	2	1	0.1	1	0.1歳児クラス	1	1
2	H30.10.2	昼	火	0.1歳児	2	1	0.1	1	0.1歳児クラス		1
3	H30.10.2	昼	火	0.1歳児	2	1	0.1	2	0.1歳児クラス	1	1
4	H30.10.2	昼	火	0.1歳児	2	1	0.1	1	0.1歳児クラス		1
5	H30.10.3	昼	水	0.1歳児	2	1	0.1	2	2歳児クラス		1
6	H30.10.4	昼	木	2歳児	2	1	2	1	2歳児クラス	1	1
7	H30.10.4	昼	木	2歳児	2	1	2	1	2歳児クラス	1	1
8	H30.10.4	昼	木	0.1歳児	2	1	0.1	2	0.1歳児クラス		1
9	H30.10.4	昼	木	2歳児	2	1	2	1	2歳児クラス		1
10	H30.10.4	昼	木	0.1歳児	2	1	0.1	2	0.1歳児クラス	1	1

【状況】②複数のクラスに多数の患者がいる！ ～患者がクラス、フロアに偏っている場合～



拡げない！メリハリ対策

優先順位が高いのは… 交差をなくす！



- ・【状況】②複数のクラスに多数の患者がいる！
～患者がクラス、フロアに偏っている場合～

イベント、合同保育などの開催方法について

- 延期、中止を検討する
- クラスごとの活動とする
- フロアごとの活動とする
- 上記が難しい場合は、有症状者は隔離し、手洗い、咳エチケット、環境消毒を重点的に実施する
- 職員（非常勤職員を含む）は、できる限り固定のクラスに勤務する

【状況】②複数のクラスに多数の患者がいる！ ～症状に偏りがある場合～

患者調査一覧表(ラインリスト) 日付は H29.5.30 のように入力しないと自動集計されません 施設名: 疾病

患者No.	発症日	発症時間	曜日 (自動)	クラス・ 部屋番号	階 (自動)	園児:1 職員:2	歳児 (自動)	性別 男:1 女:2	おう吐・下痢が あった場所	発熱 (あり:1)	吐き気 (あり:1)	おう吐 (あり:1)	腹痛 (あり:1)	下痢 (あり:1)
1	H30.10.1	昼	月	0.1歳児	2	1	0.1	1	0.1歳児クラス					1
2	H30.10.2	昼	火	0.1歳児	2	1	0.1	1	0.1歳児クラス					1
3	H30.10.2	昼	火	0.1歳児	2	1	0.1	2	0.1歳児クラス					1
4	H30.10.2	昼	火	0.1歳児	2	1	0.1	1	0.1歳児クラス					1
5	H30.10.3	昼	水	0.1歳児	2	1	0.1	2	2歳児クラス			1		1
6	H30.10.4	昼	木	3歳児	1	1	3	1	3・4・5歳児クラス					1
7	H30.10.4	昼	木	2歳児	2	1	2	2	2歳児クラス			1		
8	H30.10.4	昼	木	0.1歳児	2	1	0.1	2	0.1歳児クラス					1
9	H30.10.4	昼	木	2歳児	2	1	2	1	2歳児クラス					1
10	H30.10.4	昼	木	3歳児	1	1	3	1	3・4・5歳児クラス					1

拡げない！メリハリ対策



優先順位が高いのは…

汚物を正しく処理する！

- ・【状況】②複数のクラスに多数の患者がいる！
～症状に偏りがある場合～

下痢症状のある人が多い場合には

- 便を取り扱うときは、全例で防水の使い捨てエプロン、マスク、グローブを着用し、おむつシートを使用する
- 処理した汚物はそのまま持ち歩かずにすぐにビニール袋に密封する。扉など触れないように工夫するか消毒を実施する
- トイレの環境消毒を重点的に実施する

● 集団感染対応チェックシート

集団感染対応チェックシート(インフルエンザ・保育園用)

	記入日:	
現在の感染対策の状況についてご記入願います ※チェックボックスをクリックすると選択されます ※詳細はすぐに書ける範囲で結構です		
	はい	いいえ
1週間以内に大きなイベントがあった はいの場合(時期とイベント内容):	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
園児はクラス間の交差を減らす工夫をしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
今後のイベントについて、中止(または交差を減らす工夫)を検討している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育士(非常勤含む)は担当クラスを決め、他クラスへの応援にはなるべく行かないようにしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
環境消毒に適切な消毒薬を使用している(該当するものに○) ()ビューラックス ()アルコール(消毒用エタノールなど中水準消毒薬のもの) ()その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
環境消毒の回数を平常時より増やしている はいの場合: 回/日 → 回/日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
換気を平常時より増やしている はいの場合: 回/日 → 回/日	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
布製おもちゃは撤去している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

保護者へ自宅での感染対策(咳エチケット等)を伝えている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
体調不良の園児には本人や家族に受診を促している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
職員の体調不良時はすぐ休める体制ができています	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
発症した職員は一定期間就労を休んでいる (※参考:学校保健法では「発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日(幼児は3日)を経過するまで出席停止」)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
保育課へ報告済みである	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※記入後ラインリスト、施設の見取り図とともに「インフルエンザ報告(保育園名)」という件名でメール(sippe@city.sagamihara.kanagawa.jp)
(メールできない場合はファックス(042-750-3066))をお願いします

【インフルエンザ流行期の主な注意事項】

- 流行前のワクチン接種
- 飛沫感染対策としての咳エチケット
- 手洗いの徹底
(職員⇒利用者に触れる前、触れた後、下痢・嘔吐物の処理の後)
(利用者⇒食事の前、トイレの後、外出から戻った後)
- 適度な湿度の保持(50～60%が目安)
- 十分な休養とバランスの取れた栄養摂取
- 人ごみや繁華街への外出を控える

相模原市保健所疾病対策課 平成29年 6月更新

【状況】②複数のクラスに多数の患者がいる！ (集団感染発生時)

【対策】

- 感染症発生時の主な報告基準を満たす場合、
主管課及び保健所へ連絡をする
- 感染症の流行状況、家庭での便や嘔吐物の取
り扱いについて、便りや掲示、声かけにてお知ら
せする
- 自宅での健康観察ポイントをお伝えし、はやめ
の受診と体調不良時のお休みについてお願いを
する
- 環境消毒は優先順位をつけて重点的に実施す
る

拡げない！メリハリ対策

優先順位をつけた 環境消毒！



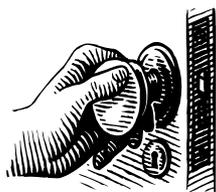
・【状況】②複数のクラスに多数の患者がいる！

環境消毒の優先順位が高いのは

- 患者数の多いクラス
- 多くのクラスの園児が交差する教室（合同保育など）



トイレ



ドアノブ



おもちゃ



蛇口



流し台

●高頻度接触面●
いろいろな人が良く触る場所

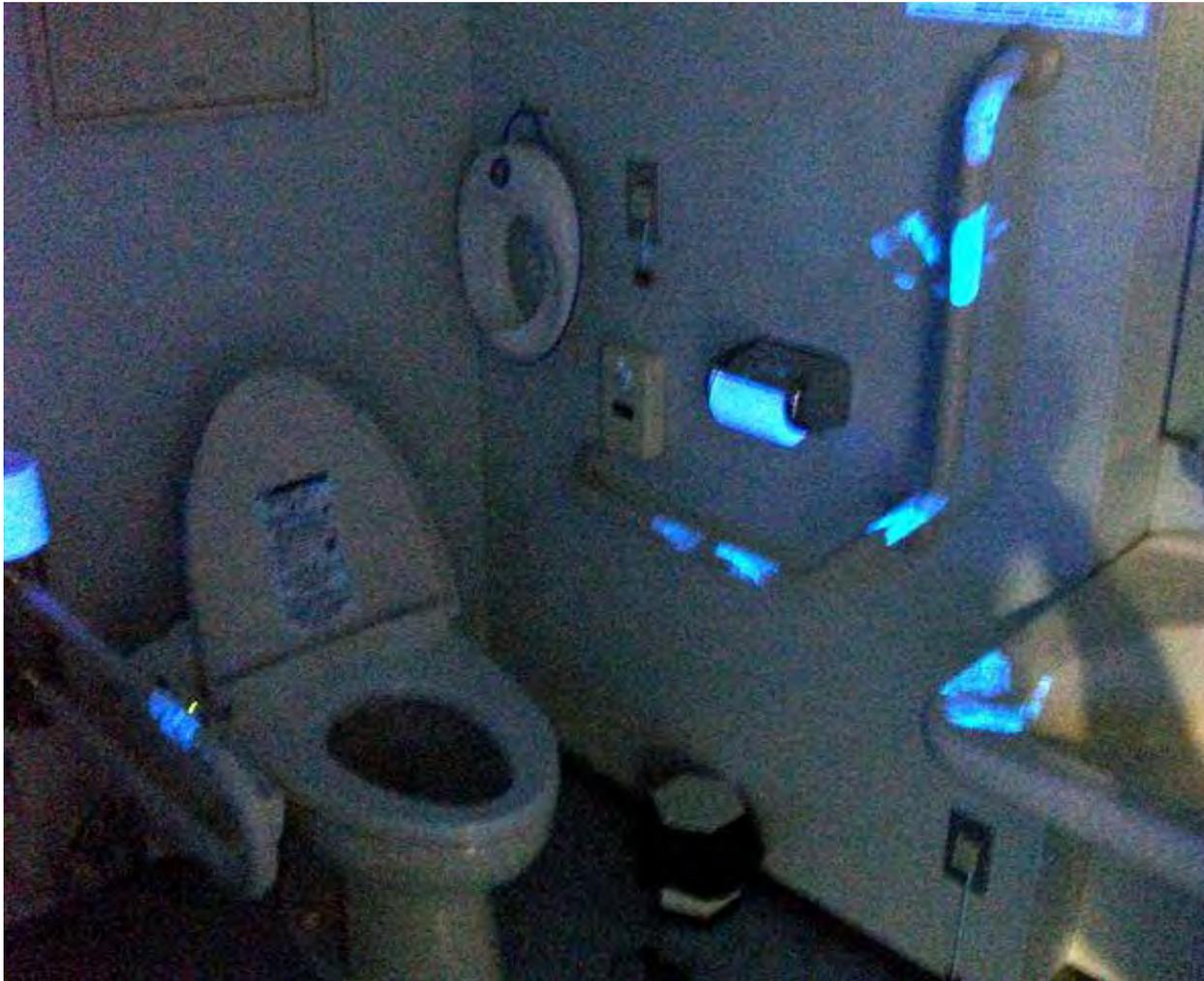


病原体はいろんな 場所にいる



ドア
ノブ

病原体はいろんな 場所にいる



トイレ
の中

【状況】③新しく感染する患者がいなくなった

【分析】

- ・潜伏期間や不顕性感染、便への病原体排出による感染拡大のリスクは検討されたか？

【状況】③新しく感染する患者がいなくなった

【対策】

- 症状消失後も便の中に病原体が排出されつづけることがあること、及び症状のない不顕性感染の患者がいる可能性もあるため、標準予防策（スタンダードプリコーション）に基づいた対応を継続する

便のついたおむつ交換実施時には、対象者の体調に関係なく、エプロン・マスク・グローブを着用し、汚物は密封して破棄する。
1人毎に流水と石鹼の手洗いをする

【状況】④集団感染の終息判断となった

【分析】

- 集団感染の終息について判断されたか？
- 今回の感染拡大の要因は何だったか？

【状況】④集団感染の終息判断となった

【対策】

- 平常時の準備をすることで、感染拡大を防ぐことや、集団感染発生時にも迅速に終息することができる
- ✓ 平常時の健康観察の実施
 - ✓ 感染症発生状況について把握
 - ✓ 感染症研修会の実施（嘔吐物処理、手洗い実習など）
 - ✓ 嘔吐物処理セットの準備（期限切れや物品の不足がないか）
 - ✓ 感染症対応マニュアルの整備、共有
 - ✓ 平常時の環境消毒

問い合わせ先

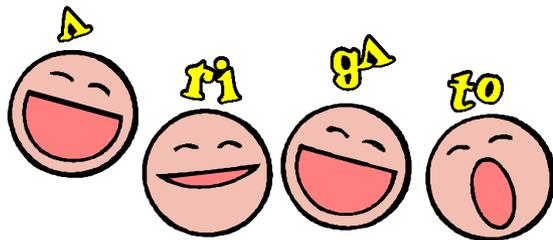
保健所疾病対策課

ウェルネスB館4階

Tel: 042-769-8260

Fax: 042-750-3066

Mail: [sippei@city.sagamihara.kanagawa.jp](mailto:sippe@city.sagamihara.kanagawa.jp)



～ご清聴ありがとうございました～

自施設の 感染症対策状況を確認

<http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kenko/kansenyobo/31410/index.html>

《参考》

感染症対策レベル診断ツール

感染症対策の
チェックポイントが
13項目全65問

所要時間
たったの
10分

・実施
・一部実施
・未実施
・対象外
から選ぶだけ

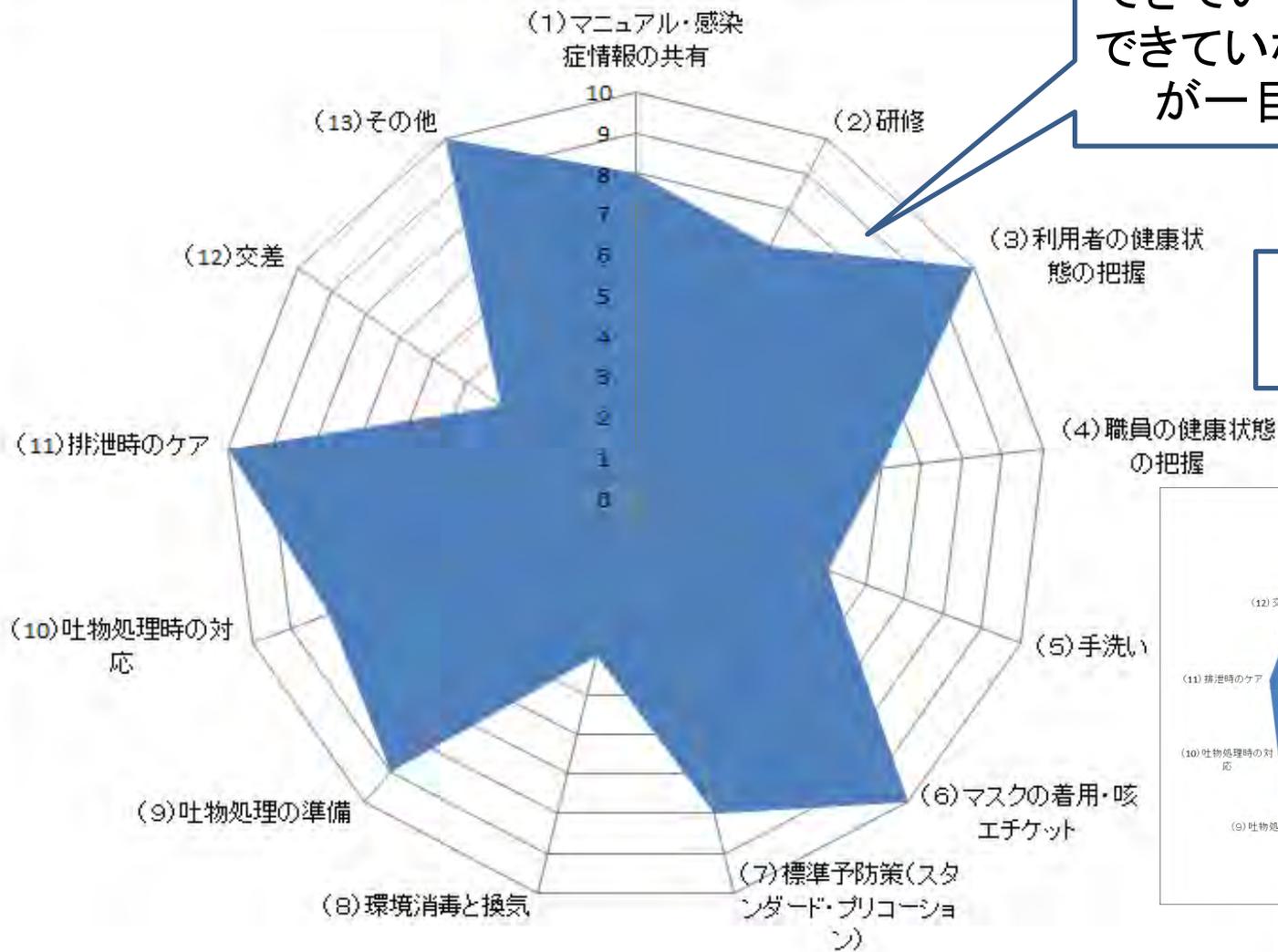
施設における感染症対策レベル診断ツール

次の各項目について、評価欄の「実施」・「一部実施」・「未実施」・「対象外」の中から、プルダウンで選択してください。

(1) マニュアル・感染症情報の共有		評価	8
1	感染対策マニュアルがあり、誰でも発生時に対応できるような内容になっていますか	実施	
2	感染対策マニュアルを定期的に更新し、職員全員が目を通していますか	実施	
3	施設内における感染症の担当者を選任していますか	実施	
4	地域における感染症に関する情報を収集し、施設内で共有していますか	実施	
5	施設内の感染症事例を共有していますか	対象外	
(2) 研修		評価	
1	施設内において感染症に関する勉強会や研修会を定期的に実施していますか	未実施	
2	施設外の研修会や勉強会に参加し、学んできた内容を施設内で情報共有していますか	一部実施	1
3	年に1回は吐物処理実習や手洗い実習をしていますか	実施	2
4	感染症の発生時や流行時には、清掃等の委託業者やパート職員にも感染症予防についての情報提供を行っていますか	実施	2
5	施設における前年度の感染症の発生状況や対応の振り返り(反省等)を行っていますか	実施	2
(3) 利用者の健康状態の把握		評価	10
1	利用者の日々の健康状況をきちんと確認していますか	実施	2
2	利用者の健康診断の結果を確認し、記録していますか	実施	2
3	利用者の予防接種歴を確認し、記録していますか	実施	2
4	施設内における発熱、呼吸器症状、下痢、嘔吐等の有症状者数の発生件数を把握していますか(感染症流行の兆しを捉えるための基準になります)	実施	2
5	面会者の健康状態を確認していますか	実施	2

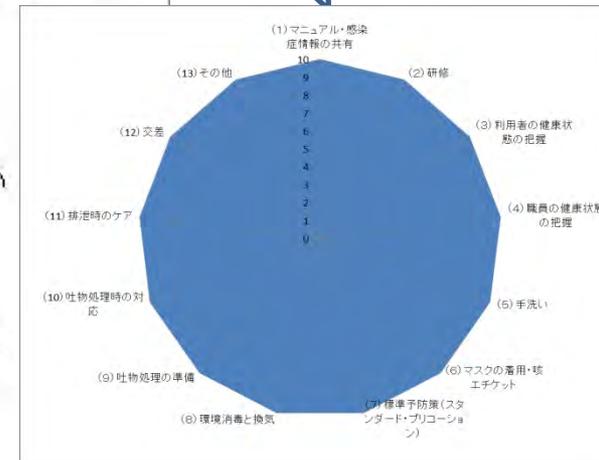
《参考》

感染症対策レベル診断ツール



できている項目と
できていない項目
が一目瞭然

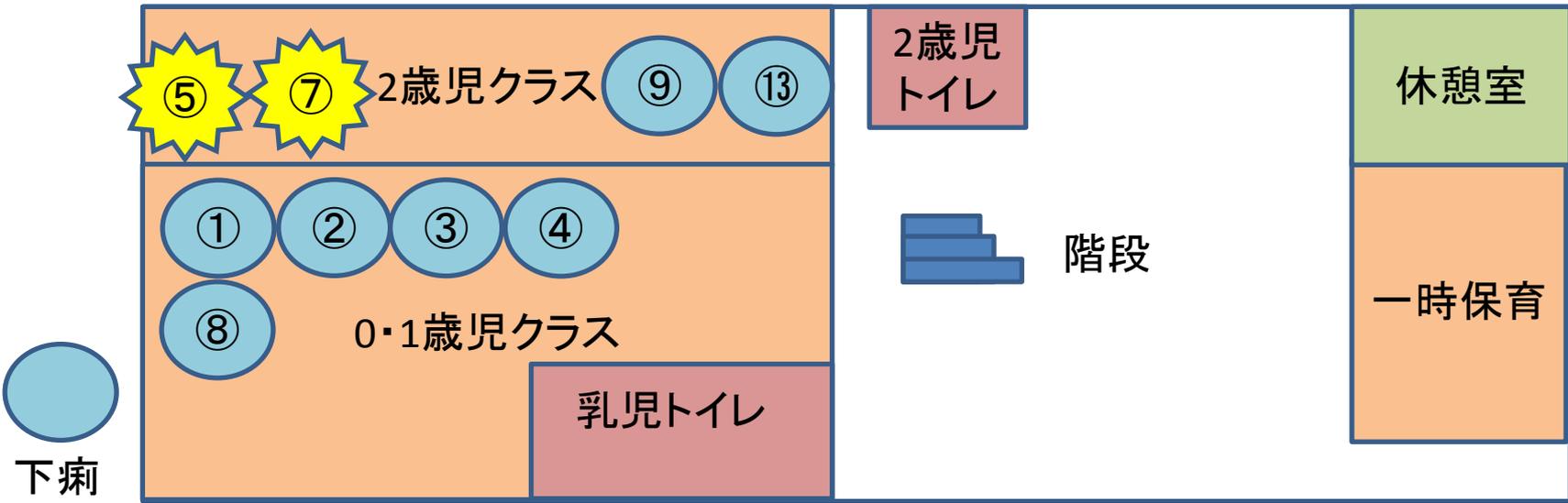
枠全体に色がつき、
大きな円になれば完璧



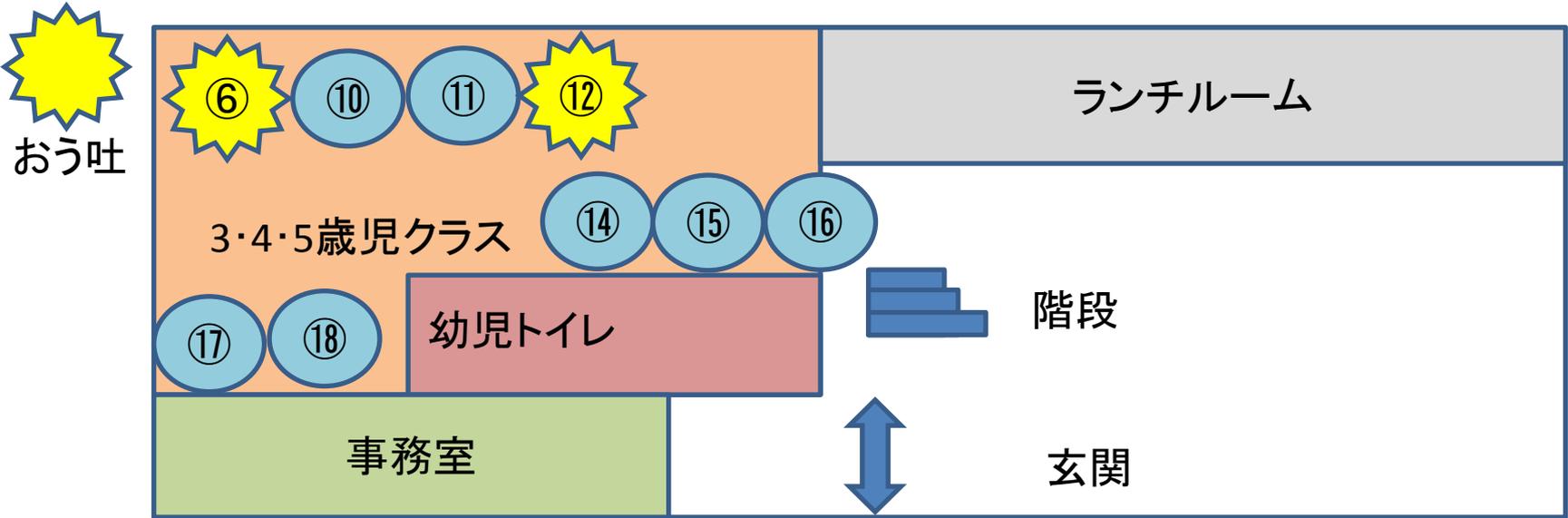
• 奇数グループは
おむつ交換 → 手洗い

• 偶数グループは
手洗い → おむつ交換

2階



1階



【検討内容】

状況をひとつ選び

①状況の把握

②その分析

③分析結果、必要な対策

例えば・・・

①合同保育で嘔吐があり感染拡大あり

②広がってしまった要因は嘔吐物処理が十分ではなかった

③嘔吐物処理方法について全職員が共通認識できるようにマニュアルを整備して研修会を開催する